

事業経過及び 結果の概要

古紙循環プロジェクトに最初は、5社から始まりました。
柏原市の為に何か出来ないか？ 企業の活性化に出来ないか？
考えてる中で 柏原市の古紙回収率がわるい事がわかりました。
そこで、市民参加型の古紙循環プロジェクトを考えてい行動し、
柏原市のイベントに参加させていただきました。
最初は 柏原総合フェスティバルにて 古紙回収プロジェクトに内容を
説明した ノート 約 12000冊 うちわ6000枚を配布しました。
次に、ものづくりフェア in 柏原に 4社が参加し、各ブースを
回るようにクイズラリーをしました。
社会見学に来ていた 小学生 中学生に説明すると資源の大切さが
わかったといいながらブースを回っていました。
正解者の中からは、後日 プレゼントを御送りさせていただきました。
今年に入り ECOフェスタに参加し、古紙を回収させていただきました。
少しずつですが市民参加型になっていると思いました。
当日は、凄く風あり寒い中 新聞など古紙を持ってきていただき
本当に嬉かったです。
その柏原の古紙を含む紙を大和板紙(株)にてテスト抄きをしていただき
ました。製紙メーカーがリサイクル紙テストをする場合 すごい費用が
発生するのですが協力のもと特別費用にて抄いていただきました。
少量の柏原ぶどう紙が出来上がりました。

この紙が出来上がった後に 東日本大震災が起こりました。
凄く悲しい出来事で、何か出来ないかとみんなで思いながら
いろいろな参加があるますが、この紙で募金函は試作しました。
製紙メーカーも被害に遭い、今、本当に資源の大切さを訴えないと
いけない。今後もこの活動を進めていきます。
この柏原ぶどう紙を使っただけの企業を探していきます。

柏原古紙循環プロジェクト一同

